

2021年度以降の政治経済学部一般入学試験に関するQ&A

●試験の概要について

Q1	どのような試験の構成となりますか？
A1	従来の「外国語」、「国語」、「選択科目」の3科目型の一般入試は、2020年度入試を最後に廃止します。2021年度入試以降では、新たに「大学入学共通テスト(4科目 計100点)」、「英語外部検定試験(15点)」、「学部独自試験(85点)」の合計200点満点の試験を実施します。 ※英語外部検定試験の得点は当初200点満点のうち30点程度とする予定でしたが、現在の英語外部検定試験を取り巻く環境に鑑みて、200点満点のうち15点に変更します。 ※今後の状況に応じて、2022年度以降の入学試験においては、英語外部検定試験の配点を30点とするなど、取り扱いを変更する場合があります。その場合には、決定次第、改めてお知らせします。

●大学入学共通テストについて

Q2	「大学入学共通テスト」で利用できるのはどの科目ですか？
A2	以下の①～④の4科目を25点ずつに換算して、可否の判定に利用します。 ①外国語(英語(リスニング含む)、ドイツ語、フランス語) ②国語 ③数学Ⅰ・数学A ④選択科目(次のいずれか1つを選択) ・地理歴史・・・「世界史B」「日本史B」「地理B」から1科目 ・公民・・・「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目 ・数学・・・「数学Ⅱ・数学B」 ・理科・・・「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 あるいは「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目

Q3	「大学入学共通テスト」の「国語」、「数学Ⅰ・数学A」の記述式問題はどのように取り扱われますか？
A3	「国語」については、A～Eで段階別評価される記述式問題は採点の対象としません。一方、「数学Ⅰ・数学A」について、マークシート式問題と一体となって出題されるため、記述式問題も採点の対象とします。 ※ただし、2022年度以降の取り扱いについては別途検討の上、変更がある場合には決定次第、改めてお知らせいたします。

●英語外部検定試験について

Q4	英語外部検定試験では具体的にどの試験種別のスコアを利用することができますか？
A4	「大学入試英語成績提供システム」に参加する全ての英語外部検定試験を利用可能とします。具体的には以下の試験を指します。 ・ケンブリッジ英語検定(C2 Proficiency, C1 Advanced, B2 First for schools, B2 First, B1 Preliminary for schools, B1 Preliminary, A2 Key for schools, A2 Key) ・実用英語技能検定(英検)(英検CBT、英検2020 1day S-CBT、英検2020 2days S-Interview) ※ ・GTEC(Advanced, Basic, Core, CBT) ・IELTS(アカデミック・モジュールのみ) ・TEAP ・TEAP CBT ・TOEFL iBT ※ ・ <del>TOEIC(Listening &amp; ReadingおよびSpeaking &amp; Writing)</del> ※ ※英検について、従来型の英検は対象外となります。 ※TOEFL iBTについて、「MyBest スコア」は活用せず、Test Dateスコアのみを活用します。 ※TOEICについて、2019年7月に試験実施機関が「大学入試英語成績提供システム」への参加申し込みを取り下げの旨の発表をしたことに伴い、当学部の一般入学試験においても利用不可とします。

Q5	それぞれの英語外部検定試験をどのようにして15点に換算しますか？
A5	大学入試センターが2018年3月に公表した「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」に基づいて政治経済学部が独自に作成する得点換算表のとおり得点換算します。得点換算表は当学部ウェブサイトにてご確認ください。

Q6	英語外部検定試験の種別によって、有利、不利になることはありますか？
A6	得点換算表に基づいて得点化します。得点が同じであれば、英語外部検定試験による取り扱いの差異はありません。

Q7	なぜ英語外部検定試験の得点換算を1点刻みとするのですか？
A7	大学入試センターが2018年3月に策定した「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」は、本来、英語能力の到達度を測る指標であり、現在の一般入試のように1点刻みで入試に用いることに対しては、異なる意見があると認識しています。しかし、5点、10点という大きな刻みで評価すると、英語外部検定試験のスコアの僅かな差が5点、10点という大きな得点差につながってしまい、事実上英語外部検定試験だけで合否が決まることになりかねません。このような事態は現在の入試制度においては望ましくないと判断しました。また、1点刻みとすることで「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」に変更が加えられた場合に、英語外部検定試験における同じスコアが受験する年度によって入試においては大幅に異なる得点に換算されてしまうという問題も緩和できます。以上の理由から、英語外部検定試験のスコアを入試における得点に換算する場合は、1点刻みの評価が最善であるという判断に至りました。

Q8	英語外部検定試験を受験していない場合でも出願することはできますか？
A8	英語外部検定試験を受験していない場合でも、出願することは可能です。その場合には、大学入学共通テストと学部独自試験の合計点のみで可否を判定します。(英語外部検定試験分は0点として扱います。)なお、大学入学共通テストで所定の科目を受験しなかった場合および学部独自試験を欠席した場合は不合格とします。

Q9	英語外部検定試験について「大学入試英語成績提供システム」経由以外でもスコアを受け付けますか？
A9	<p>「大学入試英語成績提供システム」以外でも、試験実施機関から受験生を介さずに直接当学に成績提供を行う仕組みのある試験種別に限り、2019年2月以降に受験した英語外部検定試験のスコアを提出可能とします。ただし、その場合でも「大学入試英語成績提供システム」に参加する試験種別のみ提出を受け付けます。なお、2019年7月12日現在で確認できる情報を元に次のとおりお知らせします。</p> <p>●「大学入試英語成績提供システム」を通じた成績提供が可能な試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケンブリッジ英語検定 (C2 Proficiency, C1 Advanced, B2 First for schools, B2 First, B1 Preliminary for schools, B1 Preliminary, A2 Key for schools, A2 Key)</li> <li>・実用英語技能検定 (英検) (英検CBT、英検2020 1day S-CBT、英検2020 2days S-Interview)</li> <li>・GTEC (Advanced, Basic, Core, CBT)</li> <li>・IELTS (アカデミック・モジュールのみ)</li> <li>・TEAP</li> <li>・TEAP CBT</li> <li>・TOEFL iBT</li> </ul> <p>●試験実施機関から直接成績提供が可能な試験 (2019年2月以降に受験したスコアを提出可能な試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケンブリッジ英語検定 (C2 Proficiency, C1 Advanced, B2 First for schools, B2 First, B1 Preliminary for schools, B1 Preliminary, A2 Key for schools, A2 Key)</li> <li>・GTEC (CBTのみ) ※</li> <li>・IELTS (アカデミック・モジュールのみ)</li> <li>・TEAP</li> <li>・TEAP CBT</li> <li>・TOEFL iBT</li> </ul> <p>※GTECは2019年度中に実施される試験については「CBT」のみが対象となり、「Advanced」、「Basic」、「Core」は対象外です。 ※学部が定める所定の条件を満たさないため、実用英語技能検定 (英検) は対象外となります。</p>

●学部独自試験について

Q10	学部独自試験はどのような形式の試験ですか？
A10	1科目のみを90分間で実施する予定です。ただし、学部が必要と判断する場合は実施時間を変更する可能性があります。また、日英両言語による長文を読み解いたうえで解答する形式とし、記述解答を含みます。なお、2018年8月に当学部ウェブサイトにてサンプル問題を公開しておりますので参考にしてください。ただし、サンプル問題は学部独自試験の内容をイメージしてもらうために作成したものであり、実際に課される問題とは設問数や設問内容等が異なる可能性があります。

Q11	学部独自試験はいつ実施されますか？
A11	学部独自試験は、従来の一般入学試験と同様に2月20日に実施する予定です。なお、試験開始時間等の詳細は現在検討中です。

Q12	学部独自試験ではどのような問題が課されますか？
A12	学部独自試験では、受験生の基礎的な学力を問う問題だけでなく、入学後の政治経済学部での学びに繋がるような社会科学分野の文章、グラフ、表などを正しく理解し、自らの見解を論理的に記述できる能力を評価する問題を出題する予定です。設問は、従来の英語、国語、日本史、世界史、数学などの科目の枠を超えた総合的な内容とする予定です。

<備考>

- ・上記は2019年7月12日時点の情報です。変更等がある場合には、当学部ウェブサイト等でご案内します。
- ・上記のQ&Aは、必要に応じて随時追加していく予定です。
- ・2021年度以降の一般入学試験に関して不明な点などがある場合には、以下のお問い合わせ先までメールでご連絡ください。(ただし、回答まで時間を要する場合があります。)

<お問い合わせ先>  
早稲田大学政治経済学部事務所入試係  
seikei-admission@list.waseda.jp